日本中国語学会第63回全国大会プログラム

2013年10月26日（土），27日（日）東京外国語大学

Ⅰ．前　日　10月25日（金）

17:00～19:00　　理事会（本部管理棟2階小会議室）

Ⅱ．第１日　10月26日（土）

10:30～12:00　　評議会（102中講義室）

12:00～　　受　付（マルチメディアホール前）

役員選挙投票（～16:55）

13:00～13:10　　開会式（マルチメディアホール）

開会の辞　　日本中国語学会会長　古屋　昭弘（早稲田大学）

学会奨励賞関連

13:10～14:10　　講演「双音化在汉语语法中的地位和作用」

沈　家煊（中国社会科学院語言研究所）

14:10～14:30　　質疑応答　　司会　任　　鷹（神戸市外国語大学）

休　憩

14:50～16:50　　ワークショップ

1.「指称の範疇化と「存在」の問題をめぐる考察

―歴史文法の観点から―」（マルチメディアホール）

司会：中川　正之（立命館大学）

大西　克也（東京大学）「『史記』と『世説新語』を中心に／指称範疇化への胎動」

松江　　崇（北海道大学）「唐五代資料を中心に／指称範疇の生成」

木津　祐子（京都大学）「『朱子語類』を中心に／指称範疇の展開」

木村　英樹（東京大学）「'referentiality'と'reality'――モノ・サマ・コトの現実性と有標化をめぐる問題」

2.「网上现代汉语词典的建构与对汉语教学研究的贡献」（115大講義室）

司会：望月　圭子（東京外国語大学）

詹　　卫东（北京大学）「现代汉语构式知识库的设计与实现：以表量构式为例」

砂岡　和子（早稲田大学）「关于汉语动词补语用法的网上词典的设计」

望月　圭子（東京外国語大学）「如何根据汉语中介语料来建构一个网上汉语偏误词典」

福田翔（東京外国語大学）・彭筱雯（東京大学・院）「汉语中介语料里的日本学习者的偏误类型」

17:00～18:00　　総　会（マルチメディアホール）

18:15～20:15　　懇親会（大学会館）

Ⅲ．第２日　10月27日（日）

9:00～　　受　付（マルチメディアホール前）
9:30～11:10　　分科会研究発表　午前の部（研究講義棟1階講義室）
11:10～12:00　　ポスターセッション（研究講義棟1階ガレリア）
12:00～12:50　　昼食・休憩（115大講義室）
12:50～16:50　　分科会研究発表　午後の部（研究講義棟1階講義室）

ポスターセッション

会場（研究講義棟1階ガレリア）11:10～12:00

1. 赵　林晓（北京大学）「试论明代的重动句式“VOV 不 C”」
2. 落合　守和（首都大学東京）「『白話北京日報』の言語について」
3. 宋　亚云（北京大学）「上古汉语作格动词的定义和范围」
4. 野中　仁（京都外国語大学・院）「“在”が持つ「存在」概念と進行相」
5. 伊藤さとみ（お茶の水女子大学）「中国語の選言表現の交代現象」
6. 竹越美奈子（愛知東邦大学）「十九世紀広東知識人の話しことば」
7. 王　瓊（東京大学・院）「現代中国語語気詞「啊(a)」の疑問文末用法―コーパスに基づく考察」
8. 荒木　典子（首都大学東京）「否定詞の歴史―明代白話を中心に―」
9. 陳　彦君（台灣大學）「煙、烟、菸用字考――以歷史來源及閩南語「食熏」構詞概念探究之」
10. 大野　広之（慶應義塾大学・非）「『大蔵全咒』にみられる真言陀羅尼対音表記についての一考察」
11. 西村　英希（神戸市外国語大学・院）「情态副词的“后置”与“复用”现象」
12. 劉　春芳（首都大学東京・院/太原师范学院）「“去来”结构考辩――以汉语会话课本《老乞大》四种版本为中心」
13. 藤井　美娜（北京大学）「现代汉语偏正式动名组合释义研究」
14. 曲　明（愛知県立大学）「愛知県立大学多言語学習センターカリキュラム開発への取り組み：中国語運用能力判断基準（can-do リスト）の開発とその意義」

※ポスターはセッション開始の2時間前より掲示することが可能です。
※ポスターセッションではポスターを縮小印刷したプリント（A4で1枚片面使用）を配布することができます。
※発表者は所定の時間内にセッション会場を離れることはできません。

分科会研究発表

■第１会場（102中講義室）

9:30～11:10　　司会　佐々木　勲人（筑波大学）

許　　慧玟（新潟大学・院）「受益の“给～”構文と“替～”構文の文法的使い分けと意味的分析」【有講評】

神谷　智幸（東京大学・院）「「執行使役文」と共起する“给 V”構造の意味機能」

趙　　葵欣（福岡大学）「汉语方言代词回指处置句的类型与差异」

12:50～14:30　　司会　小野　秀樹（東京大学）

董　　雪嬌（新潟大学・院）「場所を焦点化する“是…的”構文の意味特性について―動相助詞“了”を伴う構文との比較対照を通して―」

趙　　宏剛（名古屋大学・院）「静態存在文におけるアスペクト辞“着”と“了”について―主観性という観点から―」

李　　詩敏（國立政治大學）「華閩客標誌狀態改變之時貌構式的比較：語料庫觀點」

14:35～16:50　　司会　森　宏子（流通科学大学）

肖　　海娜（神戸市外国語大学・院）「現代中国語における形容詞性修飾成分を含む二タイプの喚体句―「程度副詞型」と「指示詞型」―」

王　　暁丹（新潟大学・院）「“快…了”と“要…了”の文法的使い分けと意味的相違」

王　　庆（九州外国語学院）「汉语语气助词的“依存関係構造”」

佐々木俊雄（北京大学・院）「“就”の尺度含意」

■第２会場（103中講義室）

9:30～11:10　　司会　石村　広（中央大学）

王　　英輝（東京大学・院）「「V 一個」における「一個」の意味」

汪　　宇（東京福祉大学）「“一个”の個体化機能」

楊　　麗栄（新潟大学・院）「中国語の動補構文が「使役」の意味を派生するメカニズムに関する研究」【有講評】

12:50～14:30　　司会　于　康（関西学院大学）

蕭景浚（國立清華大學）・張羣（台中科技大学）「否定情態詞的分析性分析：以台灣閩南語語詞「免」bien2 為例」

李　　佳樑（東京大学・院）「试论“表示列举”的助词“的”」

鄧　　冠明（國立清華大學）「台灣閩南語否定祈使句主語之研究」

14:35～16:50　　司会　丸尾　誠（名古屋大学）

遠藤　智子（日本学術振興会/京都大学）「中国語の自然会話における舌打ちの位置と機能」

加納　希美（東京理科大学・非）「臨時量詞を伴う二重目的語構文のひろがり」

呉　　蘭（東北大学・院）「中国語の推量表現」

梁　　婷婷（新潟大学・院）「開始義を表す“～起来”と“～开”の文法的使い分けと意味上の相違について」【有講評】

■第３会場（109 中講義室）

9:30～11:10　　司会　大西　博子（近畿大学）

鄭　　縈（新竹教育大學）「从方言比较看「一时」的语法化过程」

李　　惠琦（國立成功大學）「海南閩語情態詞‘得’」

前田　恭規（東京大学・院）「現代中国語における「アスペクト無標識」の完了事態表現」

12:50～14:30　　司会　朱　継征(新潟大学)

崔　　婷（東京外国語大学・院）「“VR 了 O”が過分義を表す条件について」【有講評】

吴　　睿純（新竹教育大學）「客家話語尾助詞「honn」與中文「吧」的比較」

毛　　兴华（東京大学・院）「谈日汉语动词动貌对比研究中的“结果取消测试”——兼论汉语及物动词动貌类型的复杂性」

14:35～16:50　　司会　遠藤　雅裕（中央大学）

王　　錦慧（台灣師範大學）「時間副詞「在」的形成探究」

江　　敏華（中央研究院語言學研究所）「臺灣客家話中引介處所／時間的介詞——跨方言及文獻的考察」

王　　振宇（関西学院大学）「关于湖南方言中完成貌助词的语法化」【有講評】

邱　　湘雲（彰化師範大學）「台灣華語及客家話「吃（食）」動詞語義衍生認知探討」

■第４会場（107 中講義室）

9:30～11:10　　司会　松江　崇（北海道大学）

王　　先云（北京大学）「上古汉语“见”的音义关系和语义句法特点」

髙山　亮太（早稲田大学・院）「吴の孫休の命名用字」【有講評】

姚　　伟嘉（桜美林大学/同济大学）「说“绳索”」

12:50～14:30　　司会　竹越　孝（神戸市外国語大学）

曹　　瑞炯（中国社会科学院・院）「从语言接触的视角看元代汉语的“V1 着 V2”句式」

包　　聯群（首都大学東京・非）「『老乞大』について」【有講評】

千野万里子（杏林大学）「近世中国語の進行・持続表現について―《红楼梦》《儒林外史》を資料として―」

14:35～16:50　　司会　木津　祐子（京都大学）

植田　　均（奈良産業大学）「《醒世姻緣傳》に見える“有声無字”の語」

伊伏　啓子（静宜大学）「早期西洋人中国語文法書に見られる“一個”について」【有講評】

藤本　健一（大東文化大学・院）「近代法律新語の形成―箕作麟祥の新造語を中心に―」

田村　　新（首都大学東京・非）「『教育雑誌』などにみる教育界と言語研究の関わり」

■第５会場（108 中講義室）

9:30～11:10　　司会　田中　智子（神戸夙川学院大学）

葉秋杏・賴惠玲（國立政治大學）「臺灣客語揣測情態副詞「驚怕」與「敢怕」之多角度辨析」

黃漢君・葉瑞娟（新竹教育大學）「客語「分」字受惠者次構式之間的連結關係」

葉瑞娟・黃漢君（新竹教育大學）「客語「分…摎」構式之探討」

12:50～14:30　　司会　遠藤　光暁（青山学院大学）

劉　　秀雪（新竹教育大學）「閩語莆仙方言的低央元音」

林　　蕙珊（台灣師範大學）「成都話上聲探析」

秋谷　裕幸（愛媛大学）「中原官話汾河片在北方方言音韻史上的位置」【有講評】

14:35～16:15　　司会　中西　裕樹（同志社大学）

杜　　佳倫（國立中山大學）「閩語古合口韻的歷史層次系統」【有講評】

李　　仲民（世新大學/暨南大學）「粵東閩方言鼻音韻尾變化與地理分布關係研究」

濱田　武志（東京大学・院）「桂南平話の系統的単一性に関する試論」

■第６会場（113 中講義室）

9:30～11:10　　司会　太田　斎（神戸市外国語大学）

陳　　小珍（大東文化大学）「《文選》五臣音注聲母研究」

蕭　　振豪（京都大学・院）「初期「紐」説とパーリ語文献 Subodhālaṅkāra」

平山　久雄「『切韻』十巻稿本と藍本韻書の推定」

12:50～14:30　　司会　三木　夏華（鹿児島大学）

呂　　昭明（松山大学）「从文献版本考证《经史正音切韵指南》的门法涵义及其相关问题」

吉川　雅之（東京大学）「ゴンサルベスの記した粵語方言」

張　　玥「上海語における/ɛ/母音の共時的変異から見た普通話の影響」

14:35～16:15　　司会　更科　慎一（山口大学）

張　　暁昭（神戸大学・院）「中国語「ai」、「ayi」と日本語「あい」の調音」

陳　　雅玲（國立清華大學・院）「印尼籍看護華語聲調之聲學分析」

陳　　淑娟（新竹教育大學）「台灣閩南語優勢音的音變趨勢——台東閩南語的調查分析」

※１発表あたりの持ち時間は、発表20分、質疑応答10分です。【有講評】の場合は発表15分、講評3分、回答2分、質疑応答10分となります。

※各発表の間に5分間の休憩を設定してあります。会場間の移動や発表者のパソコン調整のために必要ですので、定時進行にご協力をお願いします。

※会場における追加資料の配布は認められておりません。

分科会研究発表タイムスケジュール

	第１会場（102）	第２会場（103）	第３会場（109）	第４会場（107）	第５会場（108）	第６会場（113）
司会	佐々木勲人	石村　広	大西博子	松江　崇	田中智子	太田　斎
9:30～10:00	許　慧玟	王　英輝	鄭　　縈	王　先云	葉　秋杏	陳　小珍
10:05～10:35	神谷智幸	汪　　宇	李　惠琦	髙山亮太	黄　漢君	蕭　振豪
10:40～11:10	趙　葵欣	楊　麗栄	前田恭規	姚　伟嘉	葉　瑞娟	平山久雄
11:10～12:00	ポスターセッション					
12:00～12:50	昼食・休憩					
司会	小野秀樹	于　　康	朱　継征	竹越　孝	遠藤光暁	三木夏華
12:50～13:20	董　雪嬌	蕭　景浚	崔　　婷	曹　瑞炯	劉　秀雪	呂　昭明
13:25～13:55	趙　宏剛	李　佳樑	呉　睿純	包　聯群	林　蕙珊	吉川雅之
14:00～14:30	李　詩敏	鄧　冠明	毛　兴华	千野万里子	秋谷裕幸	張　　玥
司会	森　宏子	丸尾　誠	遠藤雅裕	木津祐子	中西裕樹	更科慎一
14:35～15:05	肖　海娜	遠藤智子	王　錦慧	植田　均	杜　佳倫	張　暁昭
15:10～15:40	王　暁丹	加納希美	江　敏華	伊伏啓子	李　仲民	陳　雅玲
15:45～16:15	王　　庆	呉　　蘭	王　振宇	藤本健一	濱田武志	陳　淑娟
16:20～16:50	佐々木俊雄	梁　婷婷	邱　湘雲	田村　新		

※共同発表の場合には筆頭発表者のみを表示しています。

●参加方法

事前登録は不要です。

（１）参加費（予稿集代を含む）　3,000円

（２）10月26日（土）懇親会費　一般　4,000円

院生・学生　3,000円

（３）10月27日（日）昼食弁当代　1,000円

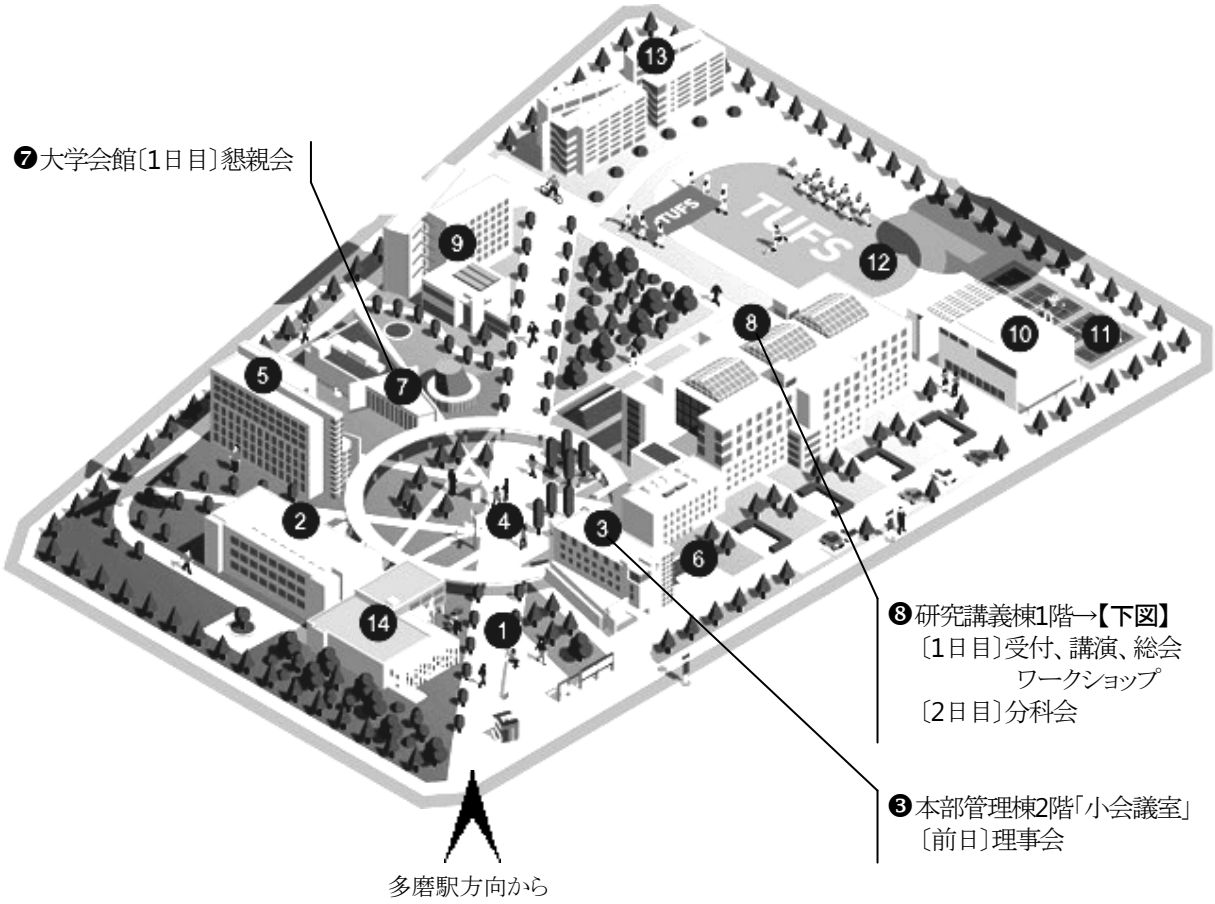
※27日（日）の昼食弁当は26日（土）に引換券を前売りします。売り切れの場合はご容赦下さい。会場周辺にはコンビニはありますが、飲食店は多くありませんので、引換券をお買い求めでない方は、ご自身で27日の昼食をご用意下さい。

※「予稿集」を 2 部以上ご購入したい場合は、大会終了後に学会ホームページに記載されている要領に従って好文出版あてにご注文下さい。

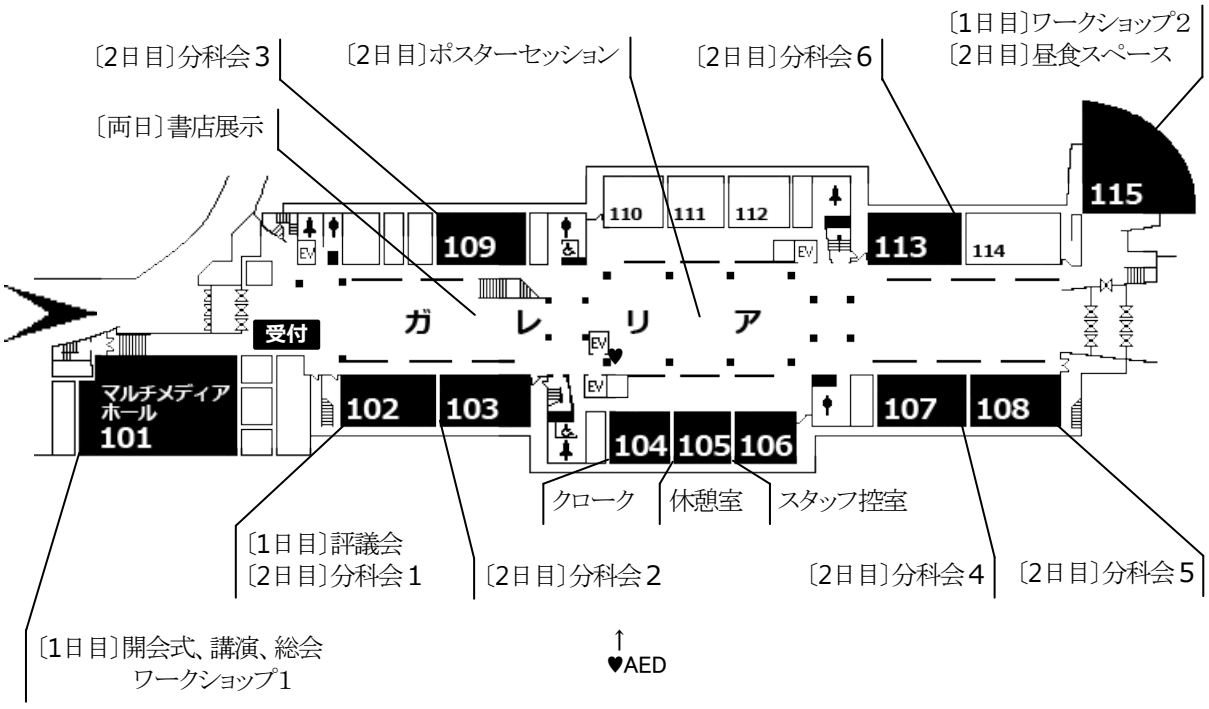
※宿泊先の紹介や斡旋はありません。各自でご予約下さい。

※会場に学会事務局のカウンターは設置されません。学会費納入・学会費領収書発行等の手続きは行いませんのでご了承下さい。

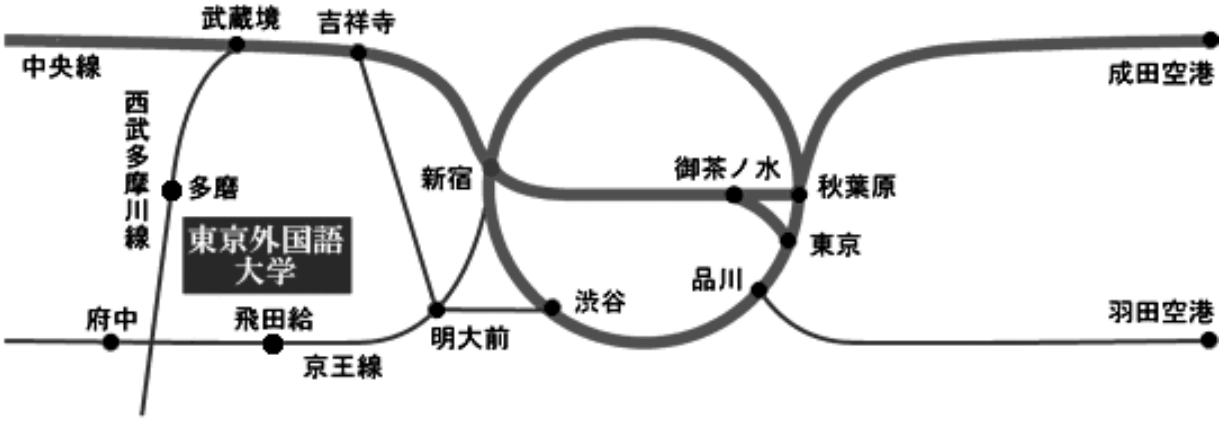
【会場周辺配置図】



【会場配置図】



【交通のご案内】所在地　〒185-8534　東京都府中市朝日町 3-11-1



◆JR 中央線
「武蔵境」のりかえ、西武多摩川線「多磨」下車、徒歩約 5 分。※「武蔵境」まで「東京」から約 35 分、「新宿」から約 20 分。特快は停まりません。※西武多摩川線武蔵境駅是政方面 7－20 時台毎時 06、18、30、42、54 発。
◆京王線
「飛田給」下車、徒歩約 25 分 1.7km、または、北口より「京王バス」多磨駅行き「東京外国語大学前」下車。
※約 30 分間隔、所要約 10 分。
「武蔵野台」下車、南口より「ちゅうバス」多磨駅行き「東京外国語大学前」下車。※8－19 時台毎時 09、39 発、所要約 10 分。
※駐車場はありません。お車でのご来場はご遠慮ください。

【多磨駅周辺拡大図】

